

上田ガス
本社外観

1913年(大正2年)に石炭ガスの供給からスタートした上田ガスは、2023年に創立110周年を迎え、現在はプロパンガス販売およびガス導管事業(都市ガス)のほか、オートガススタンドや電気小売り事業など、生活基盤を支える事業を地区担当制による地域密着のサービス体制で展開している。

設置個所の選定

現場を指揮した坂口さん



同社の特性として、都市ガス供給エリア内にはLPガスのお客さまは少なく、供給エリア外の遠方に多くのお客さまを抱えていることから、配送を担う社員2名の意見をもとに移動距離の遠いお客さま300件を選別した。「山の麓の別荘30件などを優先的に設置したものの、中には電波が届かず設置を断念せざるを得なかったのは残念だった」と営業部電力LPG課課長の坂口亮さんは話す。

取り付け工事は外注により万全な体制

すべての社員が専業で業務を担務しているだけでなく、検針、営業、配送などあらゆる業務を担っている中で、これ以上負荷をかけることは避けたいとの思いから、最も労力を必要とするLPWA機器の取り付け作業は、信頼のおける地元の設置工事会社に外注した。結果的には、設置に付随する設置前後の写真撮影や取り付けデータ入力作業等含め1件当たり数千円の費用はかかるものの、「専門の工事会社ゆえ、1日30件程度の取り付けができたことで、設置に要する期間を最小限にできた点は非常に良かった」と営業部部長の山岸利幸さんは振り返る。

試運転をしっかりと行い、お客さまにご迷惑をおかけしない

補助金事業を総括する山岸さん



取り付け工事は早期に完了したが、設置後すぐに自動検針の本格運用とせず、遠隔検針データと実検針データの擦り合わせ作業を2カ月間(2回/件)にわたり行った。これもお客さまにご迷惑をおかけすることなく確実に運用させるため、慎重には慎重を重ねての作業であったが、すでに設置を確認されていたお客さまからは、「いつから自動検針になるのか?」といった問い合わせも寄せられたという。

更なる利便性向上に向けた取り組みは明確ではあるものの…

LPWAの設置は既に他の補助金事業と合わせ約90%のお客さま宅に取り付けが完了し、今後のLPWA運用での課題は、「郵送で行っている検針データ送付のモバイル化を早期に実現すること」と坂口さん。現行システムは都市ガス事業と一体なため、プロパン事業だけが先行することは困難で、都市ガス事業の運用と同時に改修を進める必要があり、「システム改修に要する費用や双方の運用変更作業など悩ましい課題です」と話していた。

補助金事業を成功に導くために必要なこと

同社は過去にも数々の補助金事業を活用してきたが、「登録証の紛失による再発行手続きといった想定外の手間もあったが、今回の補助金事業については他の補助金事業とは異なり申請から報告まで比較的スムーズに進めることができた。これも機器メーカーとの情報共有、綿密な連携や相互協力があったからこそ」と営業部電力LPG課主幹の清水章一さんは振り返る。本補助金事業の成功には機器メーカーとの連携は必要不可欠なものの、「やはり設置個所の選定には相当な時間を要するので、社内で十分精査し早めに優先順位を決めることが重要です」と締めくくった。



補助金申請では苦労された清水さん

LPWA通信システムの実態調査票(事前調査)

フリガナ 会社名	ウエダガス株式会社		会社所在地	長野県上田市天神四丁目29-3		
	上田ガス株式会社		事業責任者名	坂口 亮	役職名	電力LPG課長
連絡先	部署名	電力LPG課	電話番号	0268 - 22 - 0454	従業員数	61 名
	担当者名	清水 章一	ホームページ	http://www.uedagas.co.jp/		
会社設立	西暦	1913 年	7 月	1 日	顧客件数	1,117 件 内家庭用 973 件 業務用 144 件
事業内容	1. ガス小売り事業、ガス導管事業（都市ガス）プロパンガス販売（プロパンガス） 2. ガス工事、ガス器具販売 3. オートガススタンド 4. 電気小売り事業					
会社の強み	1. 創業110年を超える歴史のある会社 2. 地区担当制による地域密着のサービス体制 3. 4.					

LPWA通信 システムの 活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input checked="" type="checkbox"/> 販売管理 <input checked="" type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安						
	<具体的活用方法> 本社より遠方のお客様より優先して設置し遠隔地の検針業務に活用						
LPWA通信 システムの 導入目的	<申請前における業務上の問題点> 設置前は検針業務に1人あたり1日～3日かかっており検針日が毎月決まった日程で行われる為その期間中に他の業務への時間の確保に苦労していた。						
	<導入によって期待する効果> 本社より遠隔地への検針業務およびボンベ残量の無線監視により移動時間が短縮され新規への営業活動及び既存のお客様への手厚いサービス体制への時間確保						
導入費用	総金額	3,289,200 円		内補助金対象金額	1,959,200 円	補助金額	979,600 円
導入期間	補助金申請日	西暦	2022 年	6 月	10 日	所要期間	4 ヶ月
	機器設置完了日	西暦	2022 年	10 月	15 日	合計	7 名 内社内 2 名 内社外 5 名

LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討													
	●機器メーカー選定													
	●設置先の選定													
	●補助金申請書作成													
	●事前調査													
	●事前周知													
	●設置工事													
	●試験運用													
	●本格運用													
	●メーカー講習会													
●その他 ()														

通信機器メーカー選定理由	LPWA通信システム事業の提案先の事業者
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<発生した問題点> 主に山間部の別荘の地域に設置を試みたため、通信電波の届かないお宅があった。
	<上記問題点を改善した方法> ポンベ周りのガス設備の近くでは電波が届きにくいお宅でも建物の場所によっては電波が届く場所もあり、通信機器の取付位置を線を延長して電波の届く位置に設置して通信を確保した。
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	遠隔地への移動時間の短縮により課内の業務分担の見直しはかかれた。
導入によって削減できた費用	費用の算出まではしていない。
反省点	電磁波アレルギーのお客様から周知の段階で設置を断られた。。そのお客様はご自身でも携帯電話やテレビのリモコンも使用されていないとの事で電磁波の出る機器の多い都会から電磁波の少ない田舎へ移住されたとの事でそのような方もいるという事を知っておかなければいけないと感じた。

今後の拡張方針	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 <input type="checkbox"/> その他 ()
---------	--

自己評価	作業項目	評価 (数字を入力)		評価5または4の具体的な理由
		数字	理由	
5 大変だった	●申請作業	4	やや大変だった	
4 やや大変だった	●仕様確定	3	普通	
3 普通	●メーカー選定	2	あまり大変ではなかった	
2 あまり大変ではなかった	●事前周知	3	普通	
1 大変ではなかった	●設置工事	4	やや大変だった	
	●試運転	3	普通	
	●その他 ()			
申請から導入後 (現在) までにあった、反響・意見・要望等	社内から	冬季に山間部の別荘地区に行く回数が減り業務の改善、時間短縮に役立った。		
	業界・取引先などの社外から			
	お客さまから	周知の段階で検針の通知が郵送になる旨は通知してあったが設置後から運用開始まで時間があいてしまった為、いつから自動検針になるのか問い合わせがあった。		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス (こうしておけば良かった、注意すべき点等)				